

## 平成 31 年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会  
杉の木園（生活介護）

### 1. 事業概要

平成 31 年度は、新規利用者 2 名を受け入れスタートした。6 月に家庭の事情により 1 名が退所され、利用契約者は 21 名となった。支援員も 6 名体制となり、共通理解のもと、心ある支援やサービス提供ができるよう、職員の育成にも努めた。

また、日中活動を通して、利用者一人一人が自分の持っている力を発揮し、達成感や自信を感じる事ができるよう、活動内容の充実を図った。

しかし、利用者の転倒による病院への搬送が 2 件あり、そのうち 1 件は骨折して入院となる等、利用者の安全や事故の未然防止に対するの意識を、改めて強く感じる機会となった。

### 2. 職員配置

職種	管理者	事務員	サビ管	支援員	支援員 補助	看護師	運転手	合計
職員数 (人)	1	1	1	6	1	1	1	12
備考				男性 4 女性 2	女性	非常勤		

(令和 2 年 3 月末日現在)

### 3. 事業内容

#### (1) 個別支援計画書の作成と実施

個別支援計画書を作成 利用者・家族の同意後、計画書に基づき 支援を実施。	年 2 回作成 実施期間 : 4 月～9 月 10 月～3 月
--	---------------------------------------

#### (2) 利用者支援

利用者の状況 (定員：20 名 契約者数：21 名)

年齢	18～24	25～34	35～44	45～54	合計	平均年齢
男性	1 名	3 名	3 名	3 名	10 名	38.0 歳
女性	3 名	2 名	5 名	1 名	11 名	34.0 歳
合計	4 名	5 名	8 名	4 名	21 名	36.0 歳

(令和 2 年 3 月末日現在)

#### 利用者障がい支援区分

	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男性	2 名	2 名	2 名	4 名	10 名
女性	0 名	2 名	3 名	5 名	10 名
合計	2 名	4 名	5 名	9 名	20 名

(令和 2 年 3 月末日現在)

利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数	21	21	20	23	20	19	22	20	21	20	19	21	247
延べ利用者数	366	381	346	404	350	335	387	341	361	330	320	361	4282
1日平均利用者数	17.5	18.2	17.6	17.6	17.5	17.7	17.6	17.1	17.2	16.5	16.9	17.1	17.4

(小数点第2位以下切り上げ)

① 日常生活の支援  
介護の提供

介護の種類	内 容
食 事	利用者個々の健康状態や体型、年齢等により、適切な栄養量の食事を提供 利用者個々の障がいの特性や食べやすさを考慮し、適切な内容の食事を提供 食事の提供 20名 (お弁当持参1名) 極刻み食 2名 おかず一口大カット 13名 等々
更 衣	着替えの介助、身だしなみ等
排 泄	トイレ誘導、排泄の介助、排泄後の処理等
移 動	移動の介助、移動中の安全配慮等
コミュニケーション	利用者個々の特性に配慮した支援等
対人関係	日常生活において円滑な人間関係を築く為の支援等
自立へ向けた支援	日常生活における困難性への対応、 社会生活への適応に関わる支援等

日中活動の支援

種 類	内 容	頻 度 等
創作的活動	図工 音楽 読書など	月4回
	書道	年5回
	クッキング	年3回
	音楽療法 (外部講師)	月1回
レクリエーション 的活動	DVD鑑賞	週1回
	カラオケ	月2回
	風船バレー 卓球バレーなど	月3回
	ボウリング フライイングディスクなど	月2回
	感覚遊び	月2回
	ゲーム	月2回
自主活動	水浴び (プール)	夏季3回
	※内容は利用者が決める	月1回

身体能力の維持・ 向上の為の活動	散歩 (室内ウォーキング)	週2回
	運動・体操など	月3回
	リラクゼーション	月3回
	リズム体操 (外部講師)	月1回
	箱折り作業 空缶潰し	月9回 月1回
作業訓練活動	公園清掃作業 (大分市より委託) ゴミ収集・トイレ清掃など 除草作業	(3名従事) 隔週2回 5・7・9・10月
	リサイクル実習 (大分市障害者就労支援協議会)	(2名従事) 週2回
施設外活動	ドライブ	週1回
	ピクニック	年1回
	外出支援	年1回

② 健康維持管理

項目	内容	頻度等
室温・湿度管理	エアコン、扇風機の使用により、適した室温になるよう配慮 加湿器を設置し、適した湿度になるよう配慮	季節に応じ 随時
検 温	登園後に体温を測定	毎 日
服薬管理	体調不良時の服薬の介助 体調不良時に保護者からの服薬依頼等	随 時
訪問診療	嘱託医が来園し、利用者の健康相談や必要な指導・助言等を行う。	毎 月
健康診断	内診・血液検査・レントゲン検査・ 血圧測定 (博愛病院にて)	9 月
	内診・血液検査・血圧測定 (杉の木園にて)	3 月
感染症予防対策	注意喚起の文書を配布 消毒・手洗いの慣行など 空気清浄機を使用 手すり、ドアノブ等の消毒	随 時
	インフルエンザの感染 (職員1名)	12月
緊急時対応	利用者の体調不良時に保護者へ連絡	随 時
	病院へ搬送し受診	2 回
	緊急時対応マニュアルの周知徹底	年 2 回

相談・助言	利用者の健康について気になることがあった際は、看護師に相談をしたりするなどして対応をした。 病院での受診が必要と思われる場合は、看護師が家族へ説明を行った。	随 時
-------	---	-----

③ 心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、各種サービスの利用状況、通院及び服薬の状況などの把握に努めた。

(3) 家族とのつながり

項 目	内 容	頻度等
相談対応	必要に応じ、家族へ報告や相談を行った。家族からの相談には真摯な態度で対応を行った。(来園・電話・訪問等)	随 時
面 談	面談を行い、家族からの意見・要望等を傾聴した。 相談支援に関する会議で家族が来園した際に、家庭での様子や施設での状態等についての話をした。	年 1 回 年 1 回以上
アンケート	職員の言動や施設に関してのアンケートを実施し、無記名で 18 家族から回答を頂いた。	年 1 回
相談支援に関すること	担当者会議やモニタリングへの出席、及び内容の説明や相談・助言などを行った。	随 時
行事の開催	夕涼み会 (家族 14 名参加) クリスマス会 (家族 12 名参加)	7 月 12 月

(4) 他機関との連携

項 目	内 容	頻度等
他の福祉サービス事業所	連絡調整、情報交換等	随 時
行政機関	連絡調整、相談等 各種手続き、申請等	随 時
医療機関	相談、情報交換、受診の付き添い等	随 時
相談支援事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随 時
特別支援学校	サービス等利用計画作成の為のアセスメント、担当者会議、モニタリング等 実習に関する連絡調整等	随 時
高等学校福祉科	卒業後の進路に関する会議、連絡調整等	随 時
大 学	実習に関する連絡調整等	随 時

## (5) 人権の擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の徹底を行った。 施設内で人権に関する研修を行った。	年2回 年1回
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口にて対応。 「ご意見承り箱」を設置。 福祉サービス運営委員会	苦情等は 無し 年2回
虐待防止	虐待防止に関する相談等は相談窓口にて 対応。	相談等は 無し

## (6) リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
施設内研修	研修を行い、職員に周知、徹底を図った。	年2回
ヒヤリハット報告書	利用者の転倒等 報告書を回覧し、内容の周知を行った。 業務報告時等に対処策の検討を行った。	23件
事故報告書	転倒による怪我（擦り傷）・その他 転倒による骨折（市へ事故報告書提出）	6件 1件

## (7) 職員の資質向上・福利厚生

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・行事・施設運営等に関する事	月1回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	年42回
施設内研修	業務改善 研修報告 事例検討など	年5回
施設外研修	県や経営協等が主催する研修会へ参加 支援員関係	23回
業務報告	情報交換、特記事項の報告、それに関する対 応策の検討、確認事項等を行った。	毎日
健康管理	一般健診の受診	年1回

## (8) 地域交流

項目	頻度等
由布支援学校からの実習生の受け入れ	2回
附属支援学校からの実習生の受け入れ	無し
新生支援学校からの実習生の受け入れ	2回
大分南高校からの実習の受け入れ	3名
大分東明高校からの実習の受け入れ	無し
大分大学福祉健康科学部からの実習の受け入れ	3名
別府大学介護体験事業からの実習受け入れ	2名
別府大学短期大学部初等教育科からの実習の受け入れ	3名

見学者等の受け入れ (障がい者とその家族、支援学校教職員、 支援学校保護者、施設職員等)	延べ23名
ボランティアの受け入れ	1名
種田西中学校の文化祭に招待 バザーの開催	11月 無し

(9) 非常災害対策

項 目	頻度等
避難訓練の実施	年10回
総合消防訓練の実施 (地震時の避難も含む)	年2回 6月 1月
消防用設備等の点検 (業者に委託)	年1回 9月
消防用設備等の自主点検	月1回

(10) 宿泊支援 (自立生活促進事業)

項 目	頻度等
地域社会での自立した生活の体験として行った。 家族の緊急時にも対応した。	延べ24人

平成31年度年間行事実施表

杉の木園

月	日	行事及び場所	参加者	内容
4	1	入所式 (杉の木園)	利用者 20名 保護者 2名 職員 10名 計 32名	自己紹介をして花東贈呈をした後、合奏を披露して新入所者 2名(佐藤さん・加来さん)を祝った。食事は、和やかな雰囲気で行われた。
	1	桜の花見 (七瀬公園)	利用者 18名 職員 8名 計 26名	午後から桜の花見で七瀬公園に出かけた。車内から、満開に咲いている桜の花を観て、歓声があがった。
5	26	杉の木交流会 (第二杉の木園)	利用者 19名 職員 8名 計 27名	利用者・職員の自己紹介をした後、第二杉の木園の利用者とワイワイ賑わいながら、魚釣りゲームを楽しんだ。昼食は、中華料理のメニューを、皆で美味しく食べた。
	17	ピクニック (佐野植物公園)	利用者 21名 職員 8名 計 29名	天候に恵まれ、絶好のお出かけ日和となった。現地では、記念撮影を撮った後、多種類の季節の花を観賞することができた。昼食は、青空の下でお弁当を食べた。
6	26	大分県障がい者 スポーツ大会 (昭電ドーム)	利用者 2名 職員 4名 計 6名	フライングディスク競技の、アキュラシーとディスタンスに2名が出場した。内1名は、アキュラシーで6投入り銀メダルを獲得したことを、皆に報告してくれた。
	2	ゆうあい スポーツ大会 (昭電ドーム)	利用者 5名 職員 6名 計 11名	フライングディスク競技(アキュラシー)3名・100m走1名・立ち幅跳び1名が出場した。フライングディスクはアキュラシーの競技で内1名が6投入り2位の成績で銀メダルを獲得した。陸上競技100m走の選手は1位、立ち幅跳びの選手は、全体1位となり表彰された。
7	5	七夕 (杉の木園)	利用者 20名 職員 7名 計 27名	七夕の紙芝居をした後、フライングディスク競技をして楽しんだ。競技後は、皆でおやつを食べたりジュースを飲んだりした。
	20	夕涼み会 (杉の木園)	利用者 14名 保護者 16名 職員 9名 計 39名	食事後は、踊り・的落としゲーム・景品抽選会をして参加者全員が楽しんでいった。雨天の為、花火は中止となったが、利用者や保護者から楽しかったと言う声が多く聞かれた。
8	21	大分市知的障がい児(者)交流会 (ホルトホール大分)	利用者 16名 保護者 11名 職員 7名 計 34名	ダンスや歌等は、手拍子をとってリズムにのり楽しそうに観ていた。パフォーマーは、ハラハラドキドキする場面を観て、硬い表情に変わっていたが、終了後は、全てのアトラクションを楽しみ満足できた表情に変わっていた。

10	18	あおぞらフェスタ (七瀬川自然公園)	利用者 19名 職員 8名 計 27名	雨の降る確率が高く、中止の確定が前日にあり、通常の活動に変更した。カラオケと輪投げをして皆で楽しんだ。
11	15	みかん狩り (日出・関口鬆光農園)	利用者 18名 職員 9名 計 27名	おいしそうなかんを選びながら狩ると、その場でおいしいそうに食べていた。狩った後は、園内の休憩所でお弁当を食べた。
12	21	クリスマス会 (杉の木園)	利用者 14名 保護者 11名 職員 10名 計 35名	ダンス・合唱・合奏は、練習の成果を発揮し、皆がリズムにのって披露できた。親子レクは、各家族が、真剣な表情で試行錯誤しながら絵合わせに取り組んでいた。後半は、ゲーム・抽選会・プレゼントの贈呈を行った。
	27	餅つき (杉の木園)	利用者 19名 保護者 9名 職員 8名 計 36名	保護者の協力により餅つきを開催した。利用者は、掛け声にあわせてお餅をつき、伝統の行事を楽しむことができた。つき終わった後は、皆で出来たてのお餅を食べた。
	6	初詣 (賀来神社・田原神社)	利用者 17名 職員 8名 計 25名	賀来神社と田原神社に初詣に出かけた。参加者全員が、境内で手を合わせ、一年の無事と健康を祈り一年のスタートをきることができた。
1	13	成人祝賀会 (ホルトホール大分)	利用者 9名 保護者 10名 職員 8名 計 27名	式典の後は、お楽しみ会でダンスを披露して新成人を祝った。式典やお楽しみ会が終わった後は、他施設やアイドルグループによるアトラクションを観て楽しんだ。
2	3	節分 (杉の木園)	利用者 16名 職員 7名 計 23名	紙芝居の後は、手作りの鬼を的にして輪投げをしたり、豆まきをしたりして、節分の行事を楽しんだ。レクリエーション後は、おやつ、ジュースを食べた。
	19	梅の花見 (吉野梅園)	利用者 18名 職員 8名 計 26名	天気は快晴で暖かく、おでかけ日和となった。現地では、梅の花をバックに皆で記念撮影をした。季節の花を観賞することができ、皆がリフレッシュしている表情を見ることができた。
3	2	ひなまつり (杉の木園)	利用者 17名 職員 7名 計 24名	クッキングで桜餅を作って行事を楽しんだ。生地を混ぜて焼く工程を、利用者が分担して取り組んだ。完成した後は、皆でうれしいひなまつりを合唱した。

# 平成 31 年度（令和元年度）事業報告

令和 2 年 3 月 31 日  
 社会福祉法人 杉の木会  
 第二杉の木園

## 1. 事業概要

多くの利用者が、様々なサポートを継続して受ける中で、本人たちに不利益が生じないよう各種関係機関と連携した。創作的・生産的活動を提供する日中活動で、様々な実体験を通して多くのことを学び、身につけられるような活動を提供した。また、自己選択による選択活動は、選択肢の幅を広げた。家族や、身の回りの方々と交わる地域・社会交流は大きな力をつける場となった。

1 月中旬にインフルエンザで 5 名が同時に休むことがあり大分市に事故報告を出し、保健所から指示をうけた。幸い翌週には全員完治し出席できた。その後、インフルエンザになった方はいなかった。在宅中に感染したのと思われたが、手洗い・うがい・園内の除菌を強化した。

3 月中旬に、新型コロナウイルスの影響で、利用者の保護者が陰性と診断を受けたが、大分市より 14 日間の利用者自宅待機の指示があった。また、感染が心配だからと利用者自宅待機を保護者から申し出があり、在宅支援を希望する方がいた。両名とも、毎日自宅に伺い本人の状態確認と保護者の相談支援をした。現在 1 名は自宅待機を解かれ元気に通っている。もう 1 名は、在宅支援を続けている。

長年、本園を利用し、途中で入所施設へ入所しても通い続けて方が、3 月に退所した。

## 2. 職員配置・採用状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

職種	管理者	事務員	サビ管	生活支援員	看護師	運転手	調理員	計
人数	1	1	1	4	1	2	外部委託	10

## 3. 事業内容

利用者の状況 定員 20 名 利用者数 22 名（令和 2 年 3 月 31 日現在）

年齢と性別

年齢	18~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	計	平均
男	0	10	2	6	0	18	33
女	0	2	1	1	0	4	32.5
計	0	12	3	7	0	22	32.9

支援程度区分

区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	平均
男	0	2	5	11	18	5.5
女	0	0	1	3	4	5.7
計	0	2	6	14	22	5.6

利用状況 (退所者含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	21	21	20	23	21	19	22	20	22	20	19	21	249
延利用者数	437	426	411	469	387	384	449	402	440	370	384	410	4969
平均利用数	19.8	19.3	18.6	21.3	17.5	17.4	20.4	18.2	20	16.8	17.4	18.6	18.8

(1) 個別支援計画書の作成と実施

利用者のニーズや適性に応じた支援内容の見直しを行い、支援者と保護者一体で支援できるよう配慮した。

年2回 6ヶ月毎

- ・支援会議 8月(22回) 2月(22回) (延べ44回)
- ・面談 9月(22回) 3月(22回) (延べ44回)

(2) 利用者支援

①日常生活の支援

各場面において、利用者のニーズや適性に応じた支援を行った。  
《介護の提供》

- ・食事・更衣・排泄・移動・コミュニケーション・自立支援・側面的支援・対人関係
- ②日中活動支援

利用者の意向や好みに応じて、自ら選択できるような活動場面を用意し、繰り返し継続して行うことで、自己選択の幅が広がった。

《創作的活動》

項目	内 容		年間
制作活動	絵画 貼り絵 書道 工作 紙すき 裁縫 等		76回
	レクリエーション	カラオケ DVD観賞 ゲーム 紙芝居 等	21回
運 動	室内ウォーキング 踏み台昇降 体操 散歩 等		113回
	リズム体操 (外部講師)		23回
音 楽	音楽療法 (支援員による) 楽器演奏 音楽鑑賞		74回
	音楽療法 (外部講師)		11回
施設外活動	ドライブ 等		32回
	外出支援 (観光 外食 買い物 等)		4回
	調理		7回
その他	動作法 (外部講師を含めた対応)		21回
	動作法 (施設職員のみによる対応)		0回

《生産的活動》

項目	内 容	年間
作業訓練	箱折り作業	97回
	空き缶つぶし作業	5回
	施設内清掃作業	19回
	農作業 (季節に応じて)	0回

《生産活動》

項目	内 容	年間
公園清掃	大分市より委託 ゴミ回収 トイレ清掃 除草	50 回
リサイクル実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 缶・ビン・ペットボトルの分別作業 (実習生 1名)	100 回
ラッシングベルト実習	大分市障害者就労支援協議会より委託 クリーニングサービスでのラッシングベルト分別作業 (実習生 1名)	20 回

③健康維持管理

毎月、医師の診断を受け、利用者の健康状態の把握に努めた。訪問診療時に、健康診断を兼ねることで、病院での待機時間や利用者の負担を減らすことが出来た。合わせて、毎月体重をはかり、利用者の健康管理に役立てた。

項目	内 容	年間
衣服の調節	季節に応じた服装・暑さ寒さに配慮した支援	随時
食 食	本人の嗜好・こだわり・嚥下状態に合わせた支援 嗜好調査	随時
服薬管理	昼食時の服薬・点眼等の管理	1 回
インフルエンザ 等感染系対策	消毒・手洗い慣行 施設内感染対策委員会の設置 インフルエンザ予防接種 (希望者 10 人)	随時 1 回
検 温	当日の健康状態の把握	毎朝 1 回
体重測定	健康管理 肥満予防	12 回
健康診断	健康状態の把握	2 回
訪問診療	日常生活の健康管理、療養上の指導 保護者への連絡、病院への搬送・同行 等 緊急時対応マニュアルの周知徹底	12 回 随時
すこやか通信	9 号～11 号発行 計 3 号 季節柄に合わせて発行	

④心身の状況等の把握

利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の福祉サービスや保健医療サービスの利用状況等の把握に努めた。また、家族と密接な連携をとり、情報を共有した。看護師や支援員による医療機関への同行 (延べ 1 回)、担当医師との情報共有を行った。

(3) 家族とのつながり

相談を受けたときは、真摯に受け止め、職員全員で問題に向き合い、可能な限り意向に沿うよう努力した。難しい事案については、保護者との話し合いの中から妥協点を探し安心できるような心がけた。

項目	内 容	年間
相談支援	利用者の家族に対し、福祉サービスに関わる相談や 助言を行った	215 回

面談	利用者、保護者のニーズを個別支援計画につなげた	1人2回
行事の開催	夕涼み交流会 (7月27日)	各1回
	クリスマス会 (12月14日)	
	餅つき (12月21日)	

#### (4) 他機関との連携

行政・医療・相談支援事業所・特別支援学校等の実習受け入れの連絡調整を行った。サービス等利用計画作成時、相談支援事業所と連絡調整・面談時同席した。家庭の事情に寄り添って他事業所と連携をとり、日中一時や短期入所の福祉サービスが使えるように計らい、送迎サービスを行った。 (22名×2回) + (22名×2回) 延べ88回

#### (5) 人権擁護と虐待の防止

常に、利用者それぞれ人権を尊重し安心して生活できるように支援者の意識を統一した。

項目	内容	年間
職員行動規範	利用者の権利擁護、虐待の防止等のための責任者を選んだ。	1回
	施設内人権研修	1回
	施設外人権研修	1回
苦情解決	苦情・意見・要望に対し、初期対応を迅速に行い、対策を講じる体制をとったが、苦情等が無かった。	苦情0件 その他0件
	福祉サービス運営委員会	2回
リスクマネジメントの徹底	ヒヤリハット報告書 20件	
	事故報告書 19件	
	・人身 18件	
	・物損 1件	
虐待防止	施設内研修 (報告書の見直し・検討)	1回
	虐待防止委員会を設置し、虐待の予防・早期発見・早期対応、さらに再発防止・啓発活動に努める	0回
	施設内研修 (虐待防止)	1回

#### (6) 職員の資質向上・福利厚生

利用者やその家族との信頼関係を維持向上させ、利用者が豊かで充実した人生を自己実現できるよう支援し、社会福祉施設としての目的を達成するために、全職員で研修を行い、資質の向上に努めた。

項目	内容	年間
職員会議	翌月の行事計画等の打ち合わせ、確認等	12回
支援会議	利用者支援についての検討会 支援計画作成会議	44回
施設内研修	業務改善 人権研修 事例検討など	6回
施設外研修	県や経営協等主催の研修会への参加	5回
申し送り	当日・翌日の業務連絡・確認	朝夕1回
健康管理	看護師による職員の健康相談	随時

健康診断	年 1 回
------	-------

(7) 地域交流

利用者が社会と関わることで、何らかの刺激を受け、または、刺激を与えることで、双方の理解を深めることを目的に、地域社会と関わる行事を行った。

項目	内 容	日 or 人数
夕涼み交流会	地域 15 名 ボランティア 1 名 合計 65 名参加	7 月 27 日
餅つき	地域・ボランティア 25 名 合計 65 名参加	12 月 21 日
戸次文化祭	大南公民館で行われる文化祭への利用者作品出品	不参加
実習受け入れ	各支援学校の実習生受け入れ 延べ (22 日)	3 人
	大分南高校福祉科の 1 年生実習受け入れ	2 人
	大分芸術短期大学からのインターシップ受け入れ	0 人
	介護体験実習での学生受け入れ	9 人
『やわらぎ』	通信『やわらぎ』75～77号発行 計3号	

(8) 非常災害対策

利用者が被災時に落ち着いて避難行動ができるよう、継続して訓練を行なった。

項目	内 容	頻度等
避難訓練	火事・地震・水害を想定しての避難・誘導訓練	11 回
総合消防訓練	総合訓練 (通報・消火・避難訓練)	1 回
消防用設備点検	定期点検 (業者委託)	2 回
	自主点検	12 回
	消防署立ち入り検査	1 回

(9) 宿泊支援：ライフサポート(自立生活促進事業)

家庭的社会的自立の一環として宿泊支援を行った。利用者が自分で考え、積極的に活動できるように支援することが、本人の自信にもなり、できなかつたこともやってみようとする積極性にも繋がったと思われる。

項目	内 容	年間
宿泊支援	利用者 1 名	延べ 23 回

## 平成31年度（令和元年度）

## 年間行事実施表

## 第二杉の木園

月	日	行事・場所	内容
4	8	桜の花見 吉四六ランド	利用者21名 職員9名 計30名 朝登園後、吉四六ランドへでかけた。天気にもぐまれ、温かい環境下で過ごせた。
4	26	杉の木交流会 第二杉の木園	利用者21名 職員9名 計30名 新しい利用者・職員の紹介を行ったのち、合同で行うレクリエーションを行った。昼食など一緒に食べられるようにし交流をはかった。
5	26	大分県障がい者スポーツ大会 大分市スポーツ公園・昭和電工グラウンド	利用者3名 保護者1名 職員6名（引率1・スタッフ5）計10名 例年と変わらぬ開催となったが、待機場所がグラウンド内テント下となった。日差しをよけつつ、水分補給を行った。
6	8	大分県ゆうあいスポーツ大会 昭和電工ドーム	利用者3名 職員6名（引率3・スタッフ3）計9名 フライングディスク競技及び、フォークダンスに参加した。場面に合わせて杉の木園参加者と合同でプログラムへ参加した。
7	27	夕涼み交流会 第二杉の木園	利用者18名 保護者22名 中組15名 職員9名 ボランティア1名 計65名 怪談・ゲーム大会・抽選会をメインに添えて実施した。
8	10	大分市知的障がい児（者）交流会 ホルトホール大分・大ホール	利用者8名 保護者6名 職員2名 計16名 事前に出欠を確認し、交流会参加グループと園で過ごすグループに分かれて実施した。交流会は、パフォーマーマンスなどを見られ楽しそうに過ごせた。
9	30	クロネコファミリーコンサート シンフォニー・多目的ホール	利用者5名 保護者2名 職員1名 計8名 本年度、新しい試みの行事となった。音楽的プログラムへの嗜好を鑑み参加の確認を行った。ただ鑑賞するのではなく、参加できる場面もあり、楽しめた。他法人と合同で開催した。
10	18	あおぞらフェスタ	荒天の為、前日に中止と判断された。その段階で、昼食の調整（Nフーズに注文）を行い、当日は第二杉の木園で過ごした。
11	8	みかん狩り 関口観光農園 田ノ浦ビーチ	利用者20名 職員9名 計29名 天気に恵まれ、現地でみかんを採取することが出来た。予約していたにもかかわらず他施設と利用時間が重なり、十分な休憩場所を確保できなかった。
11	25	紅葉狩り 大分スポーツ公園・多目的広場	利用者21名 職員7名 計28名 ジュースを購入し、現地で水分補給が出来るようにした。紅葉自体は少なかつたが、広い屋外で体を動かすことが出来たので、良い気分転換になった。
12	14	クリスマス会 第二杉の木園	利用者20名 保護者23名 職員9名 ボランティア2名 計54名 利用者・保護者ともに楽しめたようだった。サンタクロースの登場が一番盛り上がりがあった。
12	21	餅つき 第二杉の木園	利用者15名 保護者17名 職員8名 ボランティア25名 計65名 本年も、多くのボランティアに参加してもらい、社会交流の場としてお互いに刺激があった。利用者が杵を1回は使って体験が出来るようグループ毎に交代で行った。
1	6	初詣で 八幡神社・熊野神社・楠木生神社	利用者20名 職員7名 計27名 例年通り、三社詣ることができた。熊野神社で記念撮影を行った。年始の行事を体験出来た。

1	13	成人祝賀会 ホルトホール大分・大ホール	利用者10名 保護者10名 職員8名 計28名 竹田・三宅の2名が新成人となった。出し物発表やプレゼントでお祝いすることが出来た。欠席者が多く、ドライブは実施しなかった。
3	21	大分県ふれあいフライング デイスク大会	新型コロナウイルス流行の社会情勢より、中止となった。

## 平成31年度 事業報告

社会福祉法人 杉の木会 ケアホームすぎのき  
 共同生活援助事業 (介護サービス包括型)  
 短期入所事業 (空床利用型)

### 1. 事業概要

31年度事業計画の基本方針及び、31年度における重点事項に基づき、利用者支援を行なった。

6月末を以って利用者が1名退所し、4名での生活となった。この1名の退所は、他の利用者に少なからず影響があったと思われる、これまでになかった行動などが出てきた利用者もあり、対応が難しいケースも多々あった。

また、職員間で情報の共有ができてきたよう、報告のあった事や特記事項、サビ管からの指示などを連絡事項を通じて伝えたが、十分に伝えきれなかったり伝わらなかったりし、職員によって理解や認識の違いがあり、それが利用者対応に現れることもあった。

### 2. 職員配置

職種	管理者	事務員	サビ管	世話人	生活支援員
人数	1	1	1	3	14
備考	兼務	兼務	兼務	専任1 シルバー2	兼務8 専任2 シルバー4

〔令和2年3月末日現在〕

### 3. 事業内容

利用者の状況 (令和2年3月末日現在)

共同生活援助事業 [定員6名] 入居者 4名 (男性)

短期入所事業 (空床利用型) 利用契約者 4名 (男性)

利用者障がい支援区分 (令和2年3月末日現在)

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
共同生活援助 利用契約者	1名		1名	2名		4名
短期入所事業 利用契約者			2名	1名	1名	4名

日中利用施設

〔令和2年3月末日現在〕

	杉の木園	第二杉の木園	やまびこ広場 (幸福会)	合計
共同生活援助 入居者	3名		1名	4名
短期入所事業 利用契約者	1名	3名		4名

利用状況 【共同生活援助事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所 日数	30	31	30	31	30	30	31	30	29	28	29	31	360
延べ 利用者 数	136	132	130	109	110	102	109	107	98	98	100	108	1339
1日 平均 利用者 数	4.54	4.26	4.34	3.52	3.67	3.43	3.52	3.57	3.38	3.5	3.45	3.49	3.72

(小数点第2位以下切り上げ)

利用状況 【短期入所事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用日数	11	10	8	10	9	8	10	8	8	8	8	8	106

① 利用者支援

種 類	内 容 等
個別支援計画書の作成と実施	年2回 6か月毎 (共同生活援助事業)
利用者の状況に応じた 支援・介護の提供	相談及び援助
	食事
	更衣
	排泄
	移動
	コミュニケーション
	対人関係
自立へ向けた支援	
買い物支援	水、土、日曜日及び祝日
買い物代行	利用者個々の消耗品の代理購入 歯ブラシ歯磨き粉、電池、水、等々
食事の提供	栄養のバランス、身体や健康の状況、希望や嗜好を考慮して提供した。 健康診断の結果に看護師が注意事項を記入したものを世話人へ渡し、それを考慮した食事を提供した。行事の際は、行事食を提供した。

	<p>衣服の調節</p> <p>室温・湿度管理 利用者の居室のエアコンは、基本、職員が管理。</p> <p>検温（毎朝）</p> <p>服薬管理・服薬介助 3名 その他、風邪薬等、必要に応じて随時 塗布薬介助 1名 その他、痒み止め等、必要に応じて随時</p> <p>感染症予防対策 空気清浄機、加湿器の使用 消毒液の散布等</p> <p>緊急時対応 4月8日夜、利用者が足の爪を剥がした為、 夜間当番医を受診し、治療を受けた。</p> <p>保護者との連絡、杉の木園及び幸福会との連絡を 密にする事で、健康状態の把握に努めた。 体調不良の際は保護者に連絡したり、看護師に相 談したりするなどして対応した。 必要に応じて服薬（服薬介助）も行った。 健康面で気になる事があった際や受診をした方が よいと判断した際は、保護者へ病院での受診をお 願いした。保護者が無理な場合は、病院へ引率し 受診した。</p>
健康維持管理	
体験利用の受け入れ (空き部屋を利用)	利用なし。
短期入所事業 (空床利用型)	利用者に対して利便性の向上を図り、地域での自 立した生活に繋がるよう支援を行った。

② 家族とのつながり

項目	内容	頻度等
相談対応	家族からの相談には真摯な 態度で対応した。	杉の木園での保護者面談時 保護者の杉の木園来園時 電話での対応
面談	家族からの意見・要望を傾聴 した。 個別支援計画書作成に関する 話をした。	年1回 杉の木園での保護者面談時 その他 保護者が杉の木園来園時 帰宅送迎時、電話での応対等
相談支援に 関すること	相談支援に関する会議への 出席、及び内容の説明や 相談・助言など。	年1回 担当者会議 モニタリング

③ 他機関との連携

項目	内容	頻度等
他の福祉 サービス 事業所	連絡調整、情報交換等	随時 同法人の日中の事業所との連絡、 相談等。 幸福会との連絡、相談等。 連絡等あった際はサビ管が「連絡 事項」を作成し、世話人、宿直職 員、日直職員、日中の事業所の職 員へ周知し、情報の共有に努めた。
行政機関	連絡調整、相談等	随時 各種手続きや申請等
医療機関	相談、情報交換、 受診の付き添い、介助等	精神科通院介助 定期通院 2か月1回 (1名) 内科通院介助 定期通院 2か月1回 (1名) 内科通院介助 発熱の為 5月2回 (1名) 皮膚科通院介助 爪を剥がした為 4月2回 (1名) 2月1回 (1名) 精神科通院介助 認定調査の為の受診 8月1回 (1名)
相談支援 事業所	連絡調整、情報交換、相談等	随時 会議の日程調整 生活の様子の説明等

④ 人権擁護と虐待の防止

項目	内容	頻度等
職員行動規範	職員に対し、職員行動規範の 徹底を図った。 施設内で人権に関する研修を 行った。	年2回 同法人の日中の事業所での職員会 議にて行った。
苦情解決	相談や苦情等、相談窓口での 対応。 福祉サービス運営委員会	年2回 同法人の日中の事業所での職員会 議にて行った。 苦情等は無し。
虐待防止	虐待防止に関する相談等は、 相談窓口にて対応。	年2回 相談等は無し。

⑤ リスクマネジメント

項目	内容	頻度等
ヒヤリハット報告書	内容の周知、検討、対策	ヒヤリハット報告書の報告は無し。 別途作成している「特記事項記録表」に特記事項がある場合は記録。周知すべきものがあれば、サビ管が連絡事項に記載して周知した。
事故報告書	内容の周知、検討、対策	無し

⑥ 職員の資質向上

項目	内容	頻度等
職員会議	利用者・支援・行事・施設運営等に関する事など。	杉の木会合同職員会議 令和2年2月22日
シルバー雇用者会議	利用者・支援等に関する事など。	令和元年7月17日開催
施設外研修	県や経営協などが主催する研修会への参加。	研修への参加なし 共同生活援助関係の研修なし。

⑦ 非常災害対策

項目	頻度等
避難訓練の実施	7月17日 7月31日 12月25日
消防用設備の点検	新日本消防設備に委託 6月14日、12月19日に実施。(年2回)
消防用設備の自主点検	月1回
その他	消防署立入検査 31年度無し

⑧ 主な行事

実施日	行事	備考
7月31日	夕涼み会	利用者5名(内1名は短期入所利用者)、職員等11名、計16名が参加。食事会やゲーム、花火などを行った。
8月24日	野津原お祭り	利用者4名、職員等2名、計6名が参加。食事会を行った。
12月25日	クリスマス会	利用者5名(内1名は短期入所利用者)、職員5名、計10名が参加。食事会やゲームなどを行った。
その他	お誕生日会	各利用者の誕生日に行った。 (4・5・10・12月)